

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年03月31日

計画の名称	弘前城下町の歴史的風致を活かした魅力ある街なみ景観の形成													
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)												重点配分対象の該当	○
交付対象	弘前市													
計画の目標	弘前城下町地区の歴史的建造物の保全と活用及び良好な景観形成による街なみの整備改善を図り、市民や観光客が安心して訪れたい魅力あるまちづくりを目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		20	A	17	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	15	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	弘前城下町地区の主要観光施設入込客数を2,200,000人／年（R2）から2,291,000人／年（R6）に増加			
	弘前城下町地区の主要観光施設入込客数を調査する。	2200000人	2245000人	2291000人
2	立地適正化計画における居住誘導区域内の人口密度47人/haを維持			
	立地適正化計画における居住誘導区域内の人口密度を調査する。	47人/ha	47人/ha	47人/ha

備考等			個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
主要観光施設 弘前公園、 ねぶた村、 観光館、 藤田記念庭園、 百石町展示館、 旧伊東家、 旧岩田家、 旧笹森家														

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	弘前市	間接	民間	-	-	弘前城下町地区街なみ環境整備事業	景観重要建造物整備	弘前市	■	■	■	■	■	8		-
	A16-002	住宅	一般	弘前市	間接	民間	-	-	弘前城下町地区街なみ環境整備事業	景観阻害屋外広告物除却補助事業	弘前市	■	■	■	■	■	1		-
	A16-003	住宅	一般	弘前市	間接	民間	-	-	弘前城下町地区街なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備	弘前市			■	■	■	8		-
											小計						17		
											合計						17		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	弘前市	直接	弘前市	-	-	景観重要建造物調査検討 事業	景観重要建造物基礎資料作成 及び改修計画立案等	弘前市			■	■	■	2		-
		景観重要建造物の指定により適正な保存改修が実現し、市民や観光客にとって魅力ある歴史的な街なみの保全が図られる。																	
	C16-002	住宅	一般	弘前市	直接	弘前市	-	-	趣のある建物ガイドマッ プ作成事業	歴史的建造物の散策ガイドマ ップ作成	弘前市	■	■	■	■	■	1		-
		弘前城下町の回遊性が向上し、主に弘前市歴史的風致維持向上計画における重点地区内交流人口の増加と活性化が図られる。																	
	C16-003	住宅	一般	弘前市	直接	弘前市	-	-	景観ガイドライン等作成 事業	景観形成基準をわかりやすく 説明したガイドライン等の作 成	弘前市			■	■	■	0		-
		市民・事業者・行政の協働による景観づくりが推進され、歴史的な街なみ保全による良好な住環境の整備が図られる。																	
											小計						3		
												合計						3	

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
弘前市において評価を行った。	令和7年度
	公表の方法
	市公式ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	交付金を活用した景観重要建造物等改修助成を11件、景観阻害屋外広告物除却補助事業を7件実施したことにより、対象区域内における景観の質的向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	改修助成により地域のランドマークが復元されるなど、歴史的な街並みの魅力が底上げされた。 景観を阻害していた広告物が整理され、街並みの連続性が向上した。
○特記事項（今後の方針等）	
景観重要建造物等改修助成及び景観阻害屋外広告物除却補助事業を継続的に実施し景観の質的向上を図る。 また、質的向上が図られた景観の周知に繋がる事業検討を行う。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	2291000人	計画期間の大半において新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限や、感染拡大防止のための外出自粛要請により観光施設への入込客数が減少した。本事業による景観改善は街歩きを促すことに繋がっていたが、上記の要因の影響が大きく目標達成には至らなかった。なお、行動制限が解除された令和5年以降、入込客数は回復傾向にある。
	最 終 実績値	1976570人	
2	最 終 目標値	47人/ha	市内全域での人口減少が計画策定時の想定を上回った。居住誘導区域内の人口減少率が居住誘導区域外の人口減少率より低かったことから、この事業が誘導施策に一定の効果を持たしたと考える。
	最 終 実績値	42人/ha	